

2025年度後期 開講学科別集計結果表

常葉大学

開講学科	作業療法学科	履修者数	238
------	--------	------	-----

回答者数	211
------	-----

学年 マーク	回答者数／構成比 (%)				
	1年	2年	3年	4年	無効回答
	57	144	5	5	0
	27.0	68.2	2.4	2.4	0.0

No.	設問文	平均	回答者数／構成比 (%)					有効 回答	無効 回答
			5	4	3	2	1		
			とても そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない		

▼全学部共通の質問項目

1	学修環境（プロジェクタ・音響・空調・照明・静粛性）は良好であった	4.48	117 55.7	80 38.1	11 5.2	1 0.5	1 0.5	210	1
2	クラスサイズ（受講者数）やグループサイズは適切であった	4.54	124 59.0	75 35.7	11 5.2	0 0.0	0 0.0	210	1
3	周りの学生の熱意が感じられた（熱心に授業に参加していた）	4.37	105 49.8	81 38.4	24 11.4	1 0.5	0 0.0	211	0

▼学部レベルの質問項目

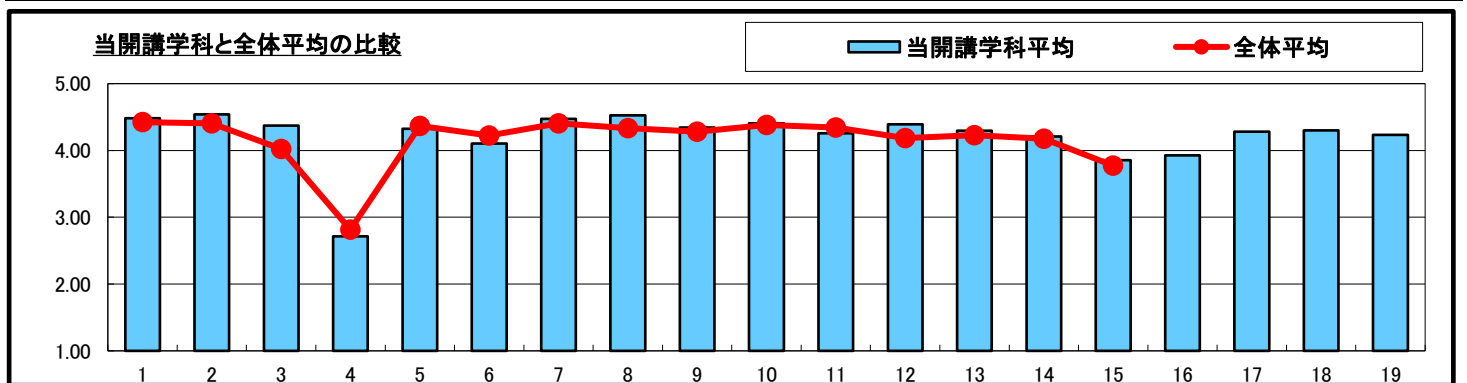
4	この授業に対する授業時間外学修にどの程度の時間を費やしましたか（1回の授業の前後）	2.72	2時間以上 30 14.2	1時間以上 2時間未満 27 12.8	30分以上 1時間未満 42 19.9	30分未満 77 36.5	全くして いない 35 16.6	211	0
5	シラバスに則した内容の授業が行われていた	4.32	105 49.8	73 34.6	29 13.7	4 1.9	0 0.0	211	0
6	この科目の難易度は適切であった	4.11	83 39.7	79 37.8	36 17.2	8 3.8	3 1.4	209	2
7	この科目は学部・学科の学びを深める上で有益であった	4.47	122 57.8	72 34.1	13 6.2	3 1.4	1 0.5	211	0
8	この科目は自らのキャリア形成や将来を考える上で役立った	4.53	131 62.1	63 29.9	15 7.1	1 0.5	1 0.5	211	0
9	【対面授業の場合】 この科目は対面で受講することが適切であった 【ポータルサイト等を活用した授業（オンライン授業）の場合】 この科目はオンラインで受講することが適切であった	4.34	119 56.9	60 28.7	20 9.6	3 1.4	7 3.3	209	2

▼教員個人レベルの質問項目

10	教員の話し方は明瞭で聴き取りやすかった	4.41	114 54.0	69 32.7	28 13.3	0 0.0	0 0.0	211	0
11	板書、スライド、配布資料などは適切であった	4.26	113 53.6	58 27.5	25 11.8	11 5.2	4 1.9	211	0
12	学生に質問や意見を求める、発表の機会を設けるなど授業への参加を促していた	4.39	114 54.0	70 33.2	23 10.9	4 1.9	0 0.0	211	0
13	学生の反応や理解を確認しながら授業を展開していた	4.29	101 47.9	79 37.4	24 11.4	6 2.8	1 0.5	211	0
14	必要に応じて学生の受講態度への注意を適切に行っていた	4.21	101 47.9	60 28.4	44 20.9	5 2.4	1 0.5	211	0
15	この授業のシラバスを読みましたか	3.85	十分に 読んだ 67 31.8	よく読んだ 78 37.0	どちらとも いえない 39 18.5	ほとんど 読まなかった 22 10.4	全く読んで いない 5 2.4	211	0

▼学科設問

16	この科目の到達目標に対する自分の達成度	3.92	59 28.0	87 41.2	56 26.5	8 3.8	1 0.5	211	0
17	（作業療法学科専門科目のみ）この科目を受講して、臨床実習に向けた自分の意欲がどう変化したか	4.28	87 41.2	97 46.0	26 12.3	1 0.5	0 0.0	211	0
18	（作業療法学科専門科目のみ）この科目を受講して国家試験に対する理解がどう変化したか	4.30	86 41.0	101 48.1	23 11.0	0 0.0	0 0.0	210	1
19	（作業療法学科専門科目のみ）この科目を受講して自分の将来像に影響があったか	4.23	87 41.2	91 43.1	28 13.3	5 2.4	0 0.0	211	0



2025 年度後期授業アンケート 学科別集計結果表に対する講評

学科／課程	作業療法学科
講評者	作業療法学科長 遠藤 浩之

設問	講評
設問 1～3 「全学部共通の質問項目」について	全体として概ね良好な評価であった。特に、前年度の課題として挙げられていた設問 3「周りの学生の熱意」について、「あまりそう思わない」と「全くそう思わない」と回答した学生は合わせて 1 名のみ (0.5%) であり、昨年度 9 名 (3.5%) から大幅な改善が見られた。今後も、学生が主体的に学びたいと思える環境づくりを継続していく必要がある。
設問 4～9 「学部レベルの質問項目」について	設問 5～9 については良好な結果であった。しかしながら、設問 4「時間外学修」については平均 2.72 と引き続き低い結果となった。具体的には、「30 分未満」と「全くしていない」と回答した学生が半数以上 (53.1%) を占めている。依然として、授業の予習復習や学修成果の積み重ねが十分に行われていない状況であるため、各科目で時間外に実施する「授業課題」のさらなる工夫や検討が引き続き求められる。
設問 10～15 「教員個人レベルの質問項目」について	設問 10～14 は概ね良好な結果であった。前年度課題となっていた設問 15「シラバス」については、「ほとんど読まなかった」と「全く読んでいない」と回答した学生の合計が約 12.8% となり、前年度の 2 割程度から改善傾向が見られた。しかし、依然として一定数の学生がシラバスを活用していない状況であるため、予習復習推奨の観点からも、引き続き学科として、ガイダンスや授業初回時にシラバスをよく読むよう、継続的に指導していく必要がある。
設問 16～ 「学科設問」について (該当学科のみ)	全体として概ね良好な結果であった。特に、設問 18 (国家試験に対する理解) や設問 19 (将来像への影響) は高い評価を得ており、国家試験や具体的な将来像への意識付けは十分に図られていると考える。一方で、設問 16「到達目標に対する自分の達成度」は平均 3.92 と他の項目と比較してやや低い傾向にあるため、学生の達成感をさらに高めるためのフィードバック等の工夫が今後の検討課題となる。